

2025 年度 事業報告書

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会

公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会が実施した 2025 年度の事業の概要を以下に報告する。

【1】 啓発事業

1) 日英国際カンファレンスを開催

開催日及び会場：2025年9月21日（日）東京都千代田区一橋講堂 参加者 521名

2025年9月23日（火）大阪府千里ライフ 参加者 420名

当会主催による「ギャンブル依存症対策 日英国際カンファレンス」を開催。会場は満席となり盛会のうちに終了した。

本カンファレンスでは、日英双方のギャンブル依存症対策について各分野の専門家から報告と意見交換を行った。イギリスからは、名誉大英勲章MBEを受章した民間団体「Gambling with Lives」共同創設者のチャールズ・リッチー氏・リズ・リッチー氏、そして「Gamban」共同創設者兼取締役のマット・ザーブ＝コーズン氏が登壇。賭け金規制やスポーツ・地下鉄からのギャンブル広告排除など、イギリスでの先進的な取り組みを紹介。さらに、当会代表の田中紀子も登壇し、依存症の当事者・家族支援の現場から見た課題や支援の必要性について講演しました。

また東京開催では、読売新聞グループ本社 代表取締役社長の山口寿一氏がオンラインカジノ、特にスポーツベットの現状と課題について解説。さらに、国立精神・神経医療研究センター 精神科医の松本俊彦氏が、ギャンブル依存症と自死の関係性について講演し、依存症が個人の責任だけでなく、社会的要因や仕組みに影響される病であることを示した。当会代表の田中紀子も登壇し、依存症の当事者・家族支援の現場から見た課題や支援の必要性、回復を支える社会の在り方について講演した。

大阪開催では、参議院議員の泉房穂氏のご登壇。明石市長時代に取り組まれたギャンブル依存症対策の経験を踏まえ、国会議員としてもできる限りの支援に取り組むと明言。岡山県精神科医療センターの精神科医、橋本望氏からは、イギリス留学で得た知見をもとに、具体的な支援策や予防施策について解説して頂いた。

参加者からは、イギリスの取り組みの具体例に驚きと学びの声があがるとともに、依存症や自死遺族の家族の気持ちの共通性に胸を打たれた。日英双方の事例や取り組みを通じて、依存症への理解を社会全体で広めるためにも国際連携の重要性が改めて確認された。

2) ギャンブル等依存症問題啓発週間に合わせてセミナーを企画・実施

- a) 2025 年 5 月 25 日ギャンブル等依存症問題啓発週間シンポジウム in 大阪
「広がるオンラインカジノ 迫る大阪 IR 進めよう依存症対策」
2025 年 5 月 18 日ギャンブル等依存症問題啓発週間フォーラム in 東京
その他、全国 37 ヶ所で、全国ギャンブル依存症家族の会と啓発セミナーを共催
(詳細は【別紙 1】を参照のこと)
- b) 全国 18 都道府県で、ギャンブル依存症に関する正しい理解と予防啓発を目的として、オリジナル啓発グッズを街頭で無料配布
- c) 2025 年 5 月 14 日読売新聞 朝刊に「ギャンブル依存症は回復できる」という新聞全面広告を掲載

3) 依存症の専門オンラインメディア「Addiction Report」を運営し広く啓発

依存症に関する正しい情報を広め、誤解や差別・偏見をなくすため記事を配信。

4) 大阪メトロ御堂筋線の車内にて啓発広告を展開

- 多くの方が利用される路線を通じて、悩みを抱えるご本人、そしてご家族の皆様へ直接メッセージをお届けするために、電車内の吊り革広告を掲載
- ・ 掲載期間：2025 年 10 月 16 日（木）～2026 年 10 月 16 日（金）
 - ・ 対象路線：大阪メトロ 御堂筋線

5) 依存症を考える落語会&トークショーを開催

昨年度の東京開催に引き続き全国三か所で「やめられない こころの嘸」として、依存症にまつわる落語の題目で啓発を行った。落語のあとは、ゲストに高知東生氏をお招きして、トークショーを開催。

- ①2025 年 5 月 5 日名古屋公演 来場者 250 名

登壇者：立川 談笑（落語家）演目「シャブ浜」
桂 三四郎（落語家）
高知 東生（俳優 / 薬物依存症回復支援者）
田中紀子（当会代表）

- ②2025 年 5 月 11 日大阪公演 来場者 368 名

登壇者：立川 談笑（落語家）演目「シャブ浜」
三遊亭 兼太郎（落語家）
高知 東生（俳優 / 薬物依存症回復支援者）
田中 紀子（当会代表）

③2025 年 6 月 28 日福岡公演 来場者 352 名

登壇者： 桂 三四郎（落語家）

三笑亭 夢丸（落語家） 演目「芝浜」

高知 東生（俳優 / 薬物依存症回復支援者）

田中 紀子（当会代表）

6) 京王閣競輪場にて啓発イベント開催

2026 年 3 月 1 日 京王閣とのコラボイベント。

内容：LOST アンケートの実施

ギャンブル依存症当事者でフリーアナウンサーの江田亮さんによる

京王閣公式 You Tube 生配信 & トークライブ

7) 大阪アメ村ビジョンにて啓発動画広告配信

関西における若者文化の発信地、アメリカ村にある最大の LED ヴィジョン

「AMEMURA VISION」で、2025 年 7 月 1 日～2025 年 12 月 31 日 当会製作 ギャンブル
依存症啓発広告を配信

8) 全国ギャンブル依存症家族の会で代表の田中が講演

NPO 法人全国ギャンブル依存症家族の会主催セミナーで代表田中が講演

2025 年 8 月 3 日ギャンブル依存症セミナーin 山口 講演

2025 年 7 月 20 日ギャンブル依存症セミナーin 徳島 講演

2025 年 7 月 27 日ギャンブル依存症セミナーin 石川 講演

9) 自治体の助成事業にてセミナー及び相談会開催

2025 年 11 月 15 日 埼玉開催：セミナー参加者 253 名 相談会 10 家族

2026 年 2 月 21 日 新潟開催：セミナー参加者 189 名 相談会 10 家族

10) 休眠預金活用事業として「依存症予防と早期支援のためのアウトリーチと相談・検証体制の整備事業」の取り組み

SNS 広告を用い希死念慮をもつ相談者への対応強化・相談に繋がれる仕組みを構築。

11) 厚生労働省依存症啓発事業との連携

2025 年 9 月 27 日 東京ビッグサイトで開催された「依存症の理解を深めよう 回復を応援し受け入れる社会へ」当事者支援部の宇都宮 駿が登壇。

12) 部活動の立ち上げ

依存症に全く興味のない他人事だと思っている方々に「ギャンブル依存症」を認識して頂くために、「部活動」を立ち上げ。様々な大会などに参加し「ギャンブル依存症からの回復」をアピールしていく。

【部活動種類】

合唱部・野球部・マラソン部・サッカー部・フラダンス部

【活動報告】

・合唱部 第48回全日本おかあさんコーラス東京支部大会に出場

2025年6月7日 府中の森芸術劇場どりーむホールにて、一般社団法人全日本合唱連盟と朝日新聞社が主宰する「おかあさんコーラス」東京大会で審査員特別賞にあたる「マーガレット賞」を受賞

・マラソン部 フラワーリレーマラソンに出場

2026年3月15日 国営昭和記念公園にて開催のフラワーリレーマラソンに出場
依存症への理解を広める活動に取り組み、啓発メッセージ入りのTシャツを着用し3チームが参加 見事完走

【2】 情報提供事業

1) 家族相談会の開催

東京で毎月開催（12回）、新潟県と埼玉県で各1回
オンライン相談会を毎月開催した（12回）
全国の依存症問題でお困りのご家族にきめ細かく情報を提供をした。

2) YouTube 動画「たかりこチャンネル」を企画・制作

2025年4月3日～2026年3月26日までに52本を公開した。

【依存症が出てくる映画】の動画52本、ショート動画を251本を公開

- ・ギャンブル依存症ショートドラマ（全5話）（2025年5月14日～5月18日）
- ・ギャンブル依存症啓発動画（全7話）（2026年2月17日～2月23日）

3) 電話相談対応（相談専用電話 070-4501-9625）

電話相談対応は1年365日ほぼ24時間体制で行った。

4) ギャンブル依存症自死遺族会

- ①自死遺族会：毎月2回オンラインミーティングを実施
- ②2026年3月20日 「ギャンブル依存症自死遺族会 仲間を偲ぶ会」を開催
会場：朝日生命ホール（大阪）来場者 428名
講師：上智大学大学院実践宗教学研究科死生学専攻教授 葛西賢太氏

5) 当事者支援部「ZOOM ミーティング」を実施

- a) 全国から当事者が参加できるオンラインミーティングを実施
当会の当事者支援部のメンバーが回復に向けての分かち合いと相談支援を行う
平日（月～金）1日2回（14時～・21時～）開催
週末（土・日）1日2回（9時～・21時～）開催

b)当事者が孤立しやすい年末年始（2025 年 12 月 27 日～2026 年 1 月 4 日）にも当事者オンラインミーティングを 1 日 2 回実施

6) ギャンブル依存症版「ハーム・リダクション」的支援を実施

ギャンブル依存症者の自傷他害を防ぐため、必要に応じて現金支給や宿泊費支給を行う。

7) Ns 部会（ナース部会）が依存症講座を実施

看護師の資格を持つギャンブル依存症の家族による各種情報提供事業。

- ①ギャンブル依存症の知識が浅い、ご家族に対する情報提供
- ②昭和大学烏山病院での連携により、初診者への情報提供事業
- ③医学系大学での依存症研修の実施、及び学会発表

8) 当事者支援部によるメッセージ活動

ギャンブル依存症からの回復者による「当事者支援部」が、全国ギャンブル依存症家族の会と連携し、回復メッセージや相談支援活動を全国で実施。

9) 「ギャンブル依存症対策議連」へオンラインカジノ問題の現状と新法の必要性を提言

2025 年 4 月 16 日に院内集会にて、「ギャンブル依存症対策議連」に向け、オンラインカジノによるギャンブル依存症が深刻な社会問題であることを情報共有し、包括的な対策と特別法制定の必要性を訴えた。

10) ポケット Wifi・iPad 寄贈事業

ネット環境の整っていない精神科病棟で、当会が主催する当事者 zoom ミーティングに連携して下さる場合には、ZOOM ミーティングに参加できるよう、ポケット Wi-Fi 及び iPad を寄贈する事業。

ギャンブル依存症からの回復に不可欠な自助グループでのミーティングを入院中から参加して貰うことで、連携が強化されている。

【3】予防教育事業

1) 防衛省にて「ギャンブル依存症予防教育」を開催

2025 年 4 月 23 日に防衛省にて、幹部職員 700 名に向けて予防教育を実施。防衛大臣をはじめ、事務次官も受講。講演の内容は、防衛省職員、自衛官がアクセスできる HP に掲載され、当会との相談連携が実現した。

また、この講演をきっかけに各地の駐屯地でも予防教育を開催。

2) 学生向け予防教育を実施

オンラインカジノが違法だということを知らない生徒も多く、予防教育の必要性を痛

感している。今後は中学や高校での予防教育の実施も増やしていきたい。

【大学】

2025/5/1 関西学院大学
2025/5/24 大阪公立大学(学園祭)
2025/6/4 名古屋大学
2025/9/9 久喜北陽高等学校
2025/9/17 大和大学情報学部
2025/10/15 大和大学社会学部
2025/11/1 久留米大学(学園祭)
2025/11/2 大和大学(学園祭)
2025/11/10 岡山県立大学
2025/11/19 大和大学政治経済学部
2025/11/27 大和大学政治経済学部
2025/12/3 大和大学情報学部
2025/12/17 大和大学理工学部
2026/1/26 川崎医療福祉大学

【高校】

2026/2/27 久留米商業高等学校

【中学】

2026/3/4 江戸川区南葛西中学校

3) 企業向け：依存症予防教育の重要性を知らしめるセミナーの実施

キリン福祉財団助成事業

企業向けに予防教育の重要性を伝えるためセミナーを開催

日時：2025年12月5日 会場：日経カンファレンスホール（大手町）

タイトル：ギャンブル依存症から社員を守ろう

登壇者：JA 福岡市 総務部人事部 清田様

防衛省人事教育局衛生官付 二等空佐 丸田様

(株)ウィルオブ・ワーク 磯江様、宇都宮様

参加者：企業人事総務等の方々およそ20社 80名

4) 若年層に向けた予防教育の冊子の作成

広島県の助成金を得て「いま、10代のあなた知っておくべき ADDICTON ギャンブル依存症」の冊子を若者・学生向けに作成。

5) 依存症予防啓発のための冊子『addiction101』を活用・送付

江戸川区教育委員会、神奈川県教育委員会に冊子の活用と送付

6) 低年齢層に向けた予防教育の紙芝居を作成

渋谷画劇団に依頼し、依存症予防教育用紙芝居「こころってなあに」を作成。

未就学児～小学校低学年向けに、依存症になる心模様を描く。

【４】その他 （各事業に付帯または関連する事業）

『子ども基地』設立に向けてクラウドファンディングを実施

ギャンブル依存症問題で元夫と離別・死別したシングルマザーと子どもたちの支援事業。シングルマザーが子供たちの不登校で離職することのないよう、子供たちを預かれる居場所を提供する。

2026/3/31 までに目標金額 800 万円に対し、9,503,000 円を獲得し、無事目標達成した。

運営体制の充実をはかるための取組みについて

会計事務所、行政書士事務所、社会保険労務士事務所と連携して、適時必要な記録、報告書類の作成や官公署への提出を行った。月次の事務局会議において、代表理事、事務局職員と、これらの士業との連携を図った。

（以下、別紙添付）

【別紙】

【1】啓発事業の模様

- 2025年5月25日ギャンブル等依存症問題啓発週間シンポジウムin 大阪
「広がるオンラインカジノ 迫る大阪 IR 進めよう依存症対策」



- 2025年5月14日読売新聞 朝刊に新聞広告を掲載



- 日英国際カンファレンス

2025年9月21日東京（一橋講堂） 9月23日大阪（大阪府千里ライフサイエンスセンター）



●大阪メトロ御堂筋線の車内にて啓発広告を展開



●京王閣競輪場にて啓発イベント開催



●合唱部 第48回全日本おかあさんコーラス東京支部大会に出場
審査員特別賞にあたる「マーガレット賞」を受賞



●マラソン部 フラワーリレーマラソンに出場



・ギャンブル依存症啓発動画（全7話）（2026年2月17日～2月23日）



第四話「当事者支援部へ
繋げ」

大阪：朝日生命ホール



当事者オンラインミーティングを1日2回実施



【3】予防教育事業

●各地駐屯地でもギャンブル依存症予防教育



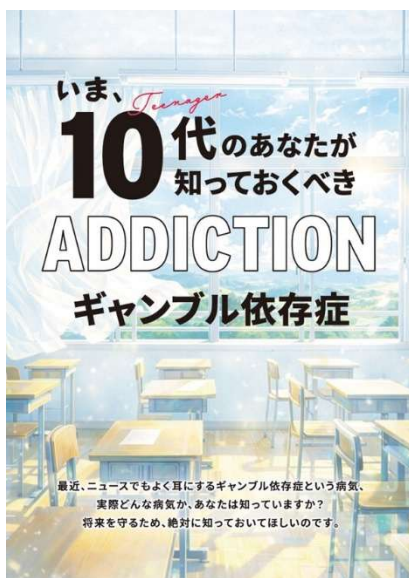
●学生向け予防教育



●企業向け予防教育（麒麟福祉財団 助成事業）



●予防教育冊子「いま、10代のあなたが知っておくべき ADDICTION ギャンブル依存症」



●低年齢層に向けた紙芝居「こころってなあに」



【4】その他 （各事業に付帯または関連する事業）

『子ども基地』設立に向けたクラウドファンディング

クラウドファンディング 2026 3/31まで！
目標金額 800万円

「子ども基地」
シングルマザーと子どもたちの居場所
を作ります

ギャンブル依存症問題で元夫と離別・死別した
シングルマザーと子どもたちの居場所

子ども基地とは
ギャンブル依存症の問題により、離別や死別を経験したシングルマザー家庭では、養育費が支払われない、虐待や学費保険が払い込まれないなど、経済的に追い詰められるケースが多くあります。必死に働くことでも、子どもが不登校になると就労が難しくなり、孤立や貧困に陥ってしまう現実があります。当会では、こうしたシングルマザー家庭の一環として、学校に行けなくなった子どもたちの居場所作りを支援します。

寄付金の使い道
子ども基地開設のため、内装工事費約800万円が必要ですが、あなたの支援が子どもたちの未来と笑顔の再出現を支えます。

学校に行けない子どもたちの“居場所”
昼食・夕食の提供
本、漫画、映画、ゲームの時間
ボウリング等の運動スペース

Support our project
誰かのご支援よろしくお願いします！

詳細・ご支援はこちらからもご覧ください
（2025.12）

公益財団法人
ギャンブル依存症問題を考える会
ギャンブル依存症問題を考える会